

# 第1予算審査 特別委員会委員長 報告

審査報告 委員長 松枝友久  
副委員長 古賀泰弘  
委員 中島征行  
近藤純久  
中島宗昭  
松枝治幸

今後の財政運営は、住民福祉の向上、社会インフラの整備、公共施設の維持改修に多大の予算が必要と思われるので、健全財政を堅持し、一層の行財政改革に努められるよう求める。

## 総務課

非常勤職員、臨時職員数は、非常勤49人、臨時35名であり、全体の仕事量も増えているので、住民サービスが低下しない様に、熟考を願う。

LED設置は、国・県道、主要道路については終了。集落内は器具が不良になった場合に交換し、新設についてはLEDとしていく。

防災行政無線整備工事は、町内12カ所すべて設置完了。戸別受信機を220台購入し、行政区長、自主防炎会長、民生児童委員、消防団幹部、避難行動要支援者等に配布の予定。

三瀬消防署の建替え計画を28～29年度で予定。

消防団と協議し、クリークの消防水利の再点検と台帳の整理を願う。

## 企画課

ホームページ運用委託料の増額理由は、指名型プロポーザル方式で実施し、初期の導入費、5年間の維持管理費、企画提案の内容等を勘案し選定委員会で決定し、セキュリティの高さを評価した。

地域情報番組制作委託料は、3年目となるが、15分番組を1日5回、期間は6カ月間で毎日放送を予定。

景観土地利用計画は、20～40歳20人程度の次世代を担う人に、町の事に関心を持ち、町づくりの提案の場を設ける予定。

一般財団法人ひしのみ国際交流センターの会員の会費納入状況が、非常に低い。特段の配慮と努力を願う。

## 税務町民課

徴収については、担当者の身

に危険が及ばない様に関係機関と協力し徴収率アップに努めて頂きたい。

## 会計課

新地方公会計制度導入及び公共施設等総合管理計画策定業務で複式簿記の導入、また、公共施設の老朽化に伴い施設の総合管理計画を28年度までに作成。公募型のプロポーザル方式による受託者の選定を予定。

## 産業振興課

新規の地域おこし協力隊員の募集は、総務省の事業で3年を予定、3大都市圏より募集し、町としては、観光に力点をおいたイベントの企画・立案に適した人材を求めたい。

農産加工施設の利用状況は、26年度は教室を5回開催し21人参加、その中の1人は常時利用し、スイーツ系の加工品を開発され、道の駅で販売。

道の駅は、地方創生交付金を活用して、JA側と協議し陳列・配置・売り方の見直しを行い、一部改修を計画。

青年就農支援金は、22名を予定し3人増を想定。

ファミリー農園3カ所の管理をシルバー人材センターに委託していく予定。未利用地

が目立ってきているので、支援効果を期待し、雑草繁茂とならない様に管理の徹底を図るように指示。

## 建設水道課

水路整備後の残地整理については、計画的に取り組むように要望。

橋梁点検は、3年前の320カ所を実施したが、架替えが2橋、補修工事が5橋、強化点検20橋(3年に1回点検)、定期点検293橋(5年に1回点検)。予算と業務の平準化を図りながら、点検業務は毎年実施する。

カーブミラーが霜で全然見えないなどの安全性向上のための新規設置は、霜対策したものとする。その他は、計画的に随時取り替えて行く予定。

花宗川の桜並木の桜の木の生育が悪いので、専門家に対処してもらうよう要請した。

町営住宅の払下げは、スピード感を持って住民の理解を得て、完了することを期待する。

現地調査は、町道の路線の認定5カ所、道の駅おき周辺整備、八丁牟田駅前広場整備工事箇所、上牟田口桜並木を実施。

## 大木町水道事業特別会計

平成27年度から第1期配水管路耐震化事業を実施すること、財源不足となる。不足分は、減債積立金と過年度損益勘定留保資金により補てんする。

水道料金の改定は、消費税が10%になるときに水道料金を検討する、と説明されてきたが、その前に改定が必要であるとの回答。

出席委員全員一致により原案のとおり可決。



審査の様子